

都心が近くなります

E電（JR東日本）の富士急行線乗入れ決定



東京方面への通勤・通学が 便利になります

朝夕 東京―河口湖間を二往復
三月十日から運行

わたしたち都留市民が待ち望んでいたE電の富士急行線への乗り入れが決定しました。

かねてからの市の主要課題として取り組んできましたE電の乗り入れが実現することになり、今春のダイヤ改正に伴い、三月十日から運行されます。

E電は河口湖―東京間を運行し、朝夕二往復します。富士急行線内は四両編成で、大月―東京間は十両編成となります。休日のダイヤは高尾―中野間が特別快速になる予定です。

現在、富士急行線からJRへの直通電車は、河口湖―高尾間、河口湖―立川間で合わせて六本、三往復が運行されています。E電につきましては、去る昭和六十一年十一月から大月―東京間を毎日四往復が運行されております。

E電の富士急行線乗り入れが開始されると、大月での乗り換えの手間が省けるほか、河口湖―東京間でおよそ五分程度の時間の短縮

が図られます。また、これにより、都留市をはじめ郡内地区も一層都心に近づき、名実ともに首都圏域の仲間入りとなります。特に、東京方面へ通勤・通学している皆さんにとっては、とても嬉しいニュースです。

将来設置される予定の都留文科
大学前駅舎と併せ、都心に近い、水と緑のやさらぎの中に活力ある都市としてのイメージアップ作りに大いに役立ち、都留市のますますの発展につながることでしよう。

